

ふ き た さ と 吹田の郷

◆発行/すいた市民環境会議◆代表/小田忠文◆事務局/564-0032 吹田市内本町2-18-8 ☎06-319-0630小田(18時以降)

◆年会費/1000円 ◆振り込み先/00980-3-28845 すいた市民環境会議

すいた市民環境会議第2回総会

日 時	'98年5月31日(日) 午後2時～4時
場 所	吹田市民会館・大集会室(1階)
議 題	幹事、役員改選/97年活動報告/98年活動計画/97年会計報告/規約改正提案ほか
懇 親 会	4時30分～6時(総会終了後簡単な懇親会を致します、ぜひご参加下さい。)
懇親会費	1000円

幹事の改選に当たり「幹事立候補」を受付ます

- ◎ 定例会議に出席可能な人(97年度は毎月第3土曜日が定例会)
- ◎ 「立候補届け」は3月31日までに《 住所・氏名・年齢・性別・職業・所属団体
立候補理由 》を記入のうえ事務局までお送りください。



すいた市民環境会議

幹事定例会の様子
(オブザーバーで誰でも参加することができます。)

◆98年度会費納入を
お願い致します

98年度会費は
98年4月～99年3月分
になります。

昨年8月に始めた古木・大木調査は、今年2月19日で締め切りました。全部で483本の大木を記録しました。重複したものや基準外の樹木を除外し、結局のところ、38種420本を、報告書用資料のベースにしました。

すいた市民環境会議と吹田自然観察会の会員からは、72本分の調査表を郵便で送っていただきました。ご協力どうもありがとうございました。お礼申し上げます。

この両会員にお願いした郵送調査と並行して、両会の世話役 29人が別に調査活動を展開し、8月9月の2カ月間で全調査本数の60%以上を記録しております。世話役のかたには、集中して動いていただいたこととなります。ご苦労様でした。

ほかにも、一般市民やマスコミ、吹田市などの協力もあって、励ましを感じながら調査を進めることができました。昨年10月時点で、調査資料を「すいたの古木・大木マップ」の形で公表することができました。緑についてほんの少し市民に語りかけることができたように思います。

今度の調査を思い返すと、大変楽しかったといえます。「生きもの」や「生命」のことを時々思いながら動いていました。楽しかったです。しかし「またやるかい？」と聞かれたら、しばらく考えてから「もう、いやや」と言うかも知れません。暑かったもんな。でも、何年か先には、この種の調査が実施されることを期待しています。なぜかといえますと、こんどの調査に調査モレもあるし、これから先、大木のほうの増減変化(成長による大木への仲間入り、枯死、伐採など)もありますから…。この変化がつかめたら、さらに楽しいと思います。

◆大木・古木調査の結果が本になります◆

調査へのご協力ありがとうございました。いま、この成果を親しみやすい本にまとめようと悪戦苦闘中です。できあがり予定は「春」??? (この調査は日本モーターボート協会の助成を受けています) 主な内容は以下の4つです。

- ① 「すいたの古木・大木マップ」どこにどんな木があるか一目で分かるカラーのマップ。裏には、調査中に聞いた木に寄せる思い、言い伝えなどを載せています。
- ② 「散策コース」大木・古木・街並みをなどを観察しながら吹田を歩く13コースを紹介。どのコースも半日程度で歩けます。
- ③ 「古木・大木図鑑」吹田で見られる大木のうち17種類について、それぞれの特徴をイラスト風に紹介しています。
- ④ 「分析・資料」調査結果の分析を試みました。また調査方法や調査したすべての木のデータを収録しています。

皆さんと散策コースを歩く企画も持ち上がっています。本を片手に古木・大木に会いにかけましょう。お楽しみに！

毎月幹事会を定例で開いています。その報告書を毎回作製していますので2月の報告書から幹事会の動きをご覧下さい。(オブザーバ-歓迎ですが場所・日時変更することあり、要問い合わせ)

第11回 すいた市民環境会議 幹事会報告

98/2/21(土) 13:45~17:15 吹田市役所ロビー

出席者 秋山.浅田.熱田.上口.小田信.小田忠.喜田.黒沢.高島.西尾.橋本.平.広村.松岡
オブザーバー 伊藤.小室.栗本.市川.黒田.西野 欠席通知 草野.菅原.

くるくるプラザ:佐藤百合子. 千里山生協:加藤恵子

吹田ロータリークラブ:井上理絵・西岡伸晃・田中紀子

東大阪市民環境会議:阿蘇紀夫・阿蘇佳子・松浦陽子

吹田市担当者 新名.稲田(緑化公園事務所).中橋(環境設計) 原田.桑田(教育委員会)

議長 広村 知幸

書記 小田

1.文化財保護条例について 教育委員会(博物館) 原田.桑田

★国の文化財保護法改正(登録文化財)を待って条例制定した。昨年3月公布、10月施行された。この間、埋蔵文化財は調査したので資料はあった。その他の文化財についての基礎資料はなかった。

昭和60~63年に博物館設立準備の中で、博物館内に民家を移築する案があったので民家の調査を行った。

併せて一部、神社についても調査した。それらは市内の一部の調査であり古民家の実数は把握していない。

★平成9年の事業として「すいた市域における古民家調査」を行ってる。“江戸後期から大正初めに建築された古民家”を中心に調査している。。市内で220軒くらい対象物件がある。増改築されていない物で所有者の許可を得て個別・実測調査したのは22軒。もう少し調査予定戸数はある。今年度に調査は終わり、平成10年度に現在調査している先生に最終報告書を書いてもらう。

★分野別の調査してリストづくりに努める。社寺調査も行う。天然記念物も視野に入れてる。仏像などは博物館内の専門学芸員が過去から調査しており市職員で調査できるが、専門的部分は先生の協力を仰ぐ。

★文化財指定基準:基準作りは抽象的な物になろう。はっきりした基準は難しい。保護審議会の知恵を借りていきたい。

★『文化財指定は審議会上に諮問して指定する』とあり審議会設置した。構成は10名以内。11月1日文化財・分野別9名(①建造物②仏像彫刻・美術③美術・工芸④民族⑤古文書・中世⑥古文書・近世⑦考古学⑧史跡⑨保存科学)を決めた。一名を除いて大学教授である。今年度中に第一回会議を開きたい。

2.みどりの基本計画マニュアル作成のための説明と意見交流:栗本修滋(環境カウンセラー)

市民の声を聞けとの要望もあり2月に地区別(吹田を大きく3つに分けて)に有志に聴取した。

緑化基本計画で、市全体としてミドリを如何にするのかは書かれている。『都市計画と緑化基本計画のいづれが優先するのか』ではなく、細かい規制を考えると役にたつのがマニュアル。

市はマニュアルに基づいて何をすべきか⇒このマニュアルを載せた開発指導要綱を作り、建築基準審査もこれを考慮してこそ、このマニュアルが生きてくるものである。建築行政、開発行政が施策の段階での材料としてこのマニュアルがあるべき。

『基本計画を守れ』という市民の後押しが市民環境会議の役目でもある

3.垂水上池公園(面積3000m²豊津・関大一高の線路の西側・平成9年度予算)についての説明:

稲田(緑化公園事務所・緑化推進課長・公園建設担当)

中橋文夫氏(環境設計・技術室長)(伊丹昆陽池・茨木西河原公園の設計担当)

国の第5次都市公園整備計画で“都市の中に自然公園づくり”がある。“みどりの基本計画”にも“身近な自然の保全”をうたっている。自然指向の気運の中、ピオトープ、環境学習というキーワードがある。日常生活の場となる公園であるので、全く自然のまま放置することはできない。

垂水上池公園設計の基本思想は・・・「何か生き物が来てくれたらいい」

①(人間の来ない)生き物が生息する聖域を設ける ②遊べる公園 ③電車からも花が見られる公園

★東側は管理する野草と管理しない野草★道路との境界は木・土・石・瓦etc.自然素材を使用する

★休憩所は草が生える屋根にする★大きな木を水辺に点々と配置する★池の深さを変える
★池の水は水道水と自然水で作る。★周囲に湿性植物 ★遊べる水辺 ★実の成る木を配置
都市公園は面積が小さいのでバランスを保ちながら、しかしバランスが崩れたら(例えば夏の水草の繁茂・アオコ)人間の力で修復する努力が必要。

お願い：学校で利用してほしい。完成後の保守…夏草の管理etcも市民でしてほしい。

20数年前、伊丹市に野鳥を呼ぼうと昆陽池を作った。昆陽池には1000種類の動植物が見られる。

☆樹種、池の水深などの意見をのべた。

4. 東大阪市民環境会議(発起人25人)からお知らせ：

東大阪でも市民がみずから環境問題を考えようと

3月8日(日)大阪樟蔭女子大学・円形ホールで設立集会と山田國宏氏の環境家計簿の講演会がある。

5. 再生紙利用について：橋本

オフィス町内会と日本青年会議所で“再生紙を見直そう”と2月大阪でシンポジウムした。配合率と白色率。再生紙で白色度80にするには天然パルプ10%と上質再生紙が必要。これは天然パルプ100%白色度80より高価になる。白色度70なら再生に新聞紙が使えるコスト低下できる。新聞紙は集められているが利用されていない。従って、(コピー用紙で)再生紙を注文する時は白色度70以下にしないと意味がない。白色度70以下(のコピー用紙)にすると新聞紙のリサイクルに有効。白色度50になるとコピー機が詰まりやすいので白色度70の再生コピー用紙を注文して下さい。

6. 最近の活動報告

(1)みどりの基本計画マニュアル作りの意見を述べる会を2月2,4,5日の夜開いた。

(2)2月11日(水・祝)東京大学・西村幸夫教授と『まちづくりと市民活動』勉強会。25人参加。

(3)環境教育フェア：市民環境会議は10時からワークショップする。

全体コーディネイト：秋山 ①住まいと景観：広村・松岡 ②残したい景観：小田信

③教育と環境：高島・草野 ④私の吹田操車場(跡地利用案)：橋本
グループ討論の後、西村教授(東大・都市工学)がまとめる。

7. 古木大木の本について

(1)古木大木調査：散策する8コース歩いた。最終的に13コースになりそう。

歴史も含めてコース案内作りたい。

(2)大木の本の進捗状況：「3月31日に本の格好がつく」をめざす

(3)吹田の大木の特徴を図鑑風味で紹介する：クスノキ・アラカシ・アベマキ・コナラ・クヌギ・シイノキ・アキニレ・ケヤキ・エノキ・ムクノキ・ユーカリ・ポプラ(セイヨウハコヤナギ)・ラクウショウ・メタセコイヤ・(クロガネモチ・センダン・プラタナス・ユリノキ)

(5)本の題名は『吹田の古木・大木』とする。

8. 98年総会について・・・会報誌の発送日も含め、明日会長以下三役で詳細を決める

9. その他

(1)【会報誌作成について】8頁で作る①一年を振り返って：高島 ②大木の本作成：熱田、喜田

③琵琶湖博物館見学：喜田、甲田 ④吹田環境教育フェア：小田信

▲原稿は短めに。▲4月から会費の更新について記載すること▲新入会員名簿：喜田

▲会費切れ案内をタックシールに含める▲3月10日原稿締切

(2)3月14日・五月が丘公民館で、自然観察会『紫金山公園の春を見つけに行こう』講師：高島氏

(3)熱田：千里山高塚のサングァール千里山・自治会長の中村さんから環境審議会委員の私に『吹田市高塚緑住土地区区画整理事業に対する要望書』が届いた。要望は読みました。

(4)秋山：環境審議会で4月19日(日曜・午後1時半～メシアタ集会室・150席)

『市民団体から意見を聞く会』が開かれる。10団体くらいから意見を聞く。

当日口頭で意見陳述(事前に文書提出不要、当日・原稿提出)

滋賀県立琵琶湖博物館研修に参加して（'97.11.30）

✍ 甲田 多澄子

ほとんど大人ばかりなのに子供の遠足みたいな賑やかさでバスは一路博物館へ。バスの中では環境ゲームで楽しみ「あっ」というまに到着。

博物館では特別にセミナー室をお借りして、まず総括学芸員の布谷和夫先生から博物館ができるまでのいきさつや、琵琶湖博物館としての考えなどのお話しをしていただきました。また、この博物館の主要な展示が“C展示室の環境について”であること。見学者がそれぞれに「環境とは何だろうか、と考えてもらおう」としていることなどを聞きました。いよいよ各自で見学です。

見て・触って・感じる・博物館であるのがよく分かりました。また、博物館の人達も楽しんで作って来られたのがよく分かりました。1日では到底見切れない内容に圧倒されている間に集合時間となり残念でした。が、帰りは博物館前から大津港まで貸し切り状態のシャトルボートに乗り、“吹田を考えるゲーム”で盛り上がりとても楽しかったです。

すいた市民環境会議の方々に、とても楽しい一日を過ごさせていただきありがとうございました。



《 吹田市の鳥 no. 3 》

ケーン・ケーンと春の野に響くキジの雄叫びは一度でも聞くと「キジも鳴かずば撃たれまい」のことわざ通りであることが実感できる。キジは桃太郎の昔話に登場するなど、昔から人に親しまれてきた鳥であるが、日本の国鳥とされながら、狩猟鳥としても最も重用されているなど人間の身勝手さに翻弄されている鳥である。キジの雄は赤い顔・緑色の胸・長い尾をもち、美しくよく目立つ色と体型をしているが、雌は全身が褐色で尾が短いなどあまり目立たない。農地の多かった昭和30年代までは、吹田市内の何処にでもキジが生息していたと思われるが、最近では生息場所が万博公園・阪大敷地などを中心とする一部地域に限定されている。万博公園では、10年前に数十つがいに住んでいたのに、今では数つがいに減少していると推定されるなど、生息可能環境の縮小により吹田市内の生息数が激減しているのが残念である。



平 軍二 （吹田野鳥の会）

キジ「雉」(キジ科)



《 玉林寺のシイノキ 》

片山公園の外れにある玉林寺（出口町）のシイノキは、本堂と墓地に挟まれた山林内の竹やぶにあり、ちょっと目につきにくいのですが、前庭のクスノキやイチョウなどの大木にも劣らず樹勢は良いようで、寺宝の三尊像を祀ったこの古い寺院と樹林のたたずまいを、永く見守って来たことでしょう。

旧吹田城の跡といわれる現アサヒビール工場まえの広い自動車道を一步入ったところにこんな静寂な歴史の遺産があるとは思えないくらいの環境です。

浅田都司男（吹田自然観察会）



◆ 樹 高 --- 15 m

◆ 幹 回 り --- 3 m

新入会員紹介（敬称略） 会員数 98.3.15 現在 120人

二上 正子 由上 勇 北村 正子 村住 和子 平田 賢一 大澤 浩子
中土 康雄 栗本 修滋 野口 裕康 市川 貴美代

98年度会費納入のお願い

98年度会費は、98年4月～99年3月分になります。同封の振り込み用紙で一年分1000円を振り込んでください。よろしくお願ひ致します。

（皆様の会費納入分は、封筒の宛て名右下に数字で印字してあります。「97」とあれば、97年度分は納入済みという意味です。）

『 すいた市民環境会議 』 入会受付中

- ◆ 郵便振り込み先 00980-3-28845 「すいた市民環境会議」
- ◆ お問い合わせ 小田 ☎ 06-319-0630（午後6時～10時）